



農林中央金庫



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）  
を支援しています。

2022年10月28日  
農林中央金庫

## 三菱ガス化学株式会社とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）と、三菱ガス化学株式会社（代表取締役社長：藤井政志、以下「三菱ガス化学」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLLは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、貸付条件をSPTの達成状況に連動させることで、借り手に対し目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長の支援をしていくことを目指すものです。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずとも、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めるとともに、2021年5月に発表した中長期目標においては、2030年までに10兆円のサステナブル・ファイナンス新規実行額を目標として掲げるなど、サステナブル経営の実践に向けて歩みを進めています。

三菱ガス化学は、2021年5月に公表した中期経営計画「Grow UP 2023」において、カーボンニュートラルに向けた取組みを経営上の最重要項目の一つと位置付けています。当社ならではの特色ある技術を活用し、カーボンニュートラルに貢献する製品・技術の開発を推進することで、同社の持つカーボンニュートラル技術の強みを活かしていくこととしています。また、「環境問題への積極的・能動的対応」をマテリアリティ（最重要課題）の一つとし、GHG排出量の長期削減目標として「2030年度36%削減（2013年度比）」の実現を掲げるとともに、「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、持続可能な社会の実現へ貢献する姿勢を明確にしています。

当金庫としては、経済的価値と社会的価値の両立に取り組み、持続可能な社会の実現を目指すという三菱ガス化学の経営方針に共感するとともに、本件ローン対応を通じて、GHG排出量削減をはじめとした三菱ガス化学によるエネルギー・気候変動問題の解決に資する

取組みを支援してまいります。

三菱ガス化学の上記中期経営計画において「2030年度までに GHG 排出量を 36%削減 (Scope1&2、2013年度比)」する目標が掲げられていることを踏まえ、本件ローンでは、この目標を SPT に設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則等への適合性について、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より第三者意見を取得しており、上記 SPT については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されております。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 (宮澤・水元) 03-6362-7172

【本件ローンの概要】

- 実行日： 2022年10月28日
- 融資期間： 10年
- 金額： 150億円
- 資金使途： 長期運転資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】



【参考リンク】

三菱ガス化学のサステナビリティについて：

<https://www.mgc.co.jp/csr/>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社による第三者意見：

[https://webmagazine.dnv.co.jp/assets/images/sus\\_list/data/sus\\_finance\\_list\\_/pdf/report\\_j/68.%E4%B8%89%E8%8F%B1%E3%82%AC%E3%82%B9%E5%8C%96%E5%AD%A6%E6%A0%AA%E5%BC%8F%E4%BC%9A%E7%A4%BE.pdf](https://webmagazine.dnv.co.jp/assets/images/sus_list/data/sus_finance_list_/pdf/report_j/68.%E4%B8%89%E8%8F%B1%E3%82%AC%E3%82%B9%E5%8C%96%E5%AD%A6%E6%A0%AA%E5%BC%8F%E4%BC%9A%E7%A4%BE.pdf)

以上